

近づく大爆発15周年



発行所

三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2

電話(53)3033番

編集兼人 前川哲也

発行人 前川哲也
半年間1,200円 送料共

裁判公判日程

三池大炭害裁判 十二月二十一日
午前十時から、福岡地裁で。前回に
子嗣郎医師の証言。

上村裁判 同日午後一時から、
福岡高裁で。組合側証言。

坑内火災裁判 一月二十五日午後
一時から、福岡地裁で。前回に
ひき続き、吉田磯彦医師の証言
予定。

裁判公判闘争へ、二人でも多く
参加しよう。

今も相次ぐ重大災害

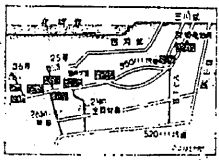
組合、スト
で抗議 保安闘争の強化へ

三池労組は今年も、職場をあげての保安闘争のまっただなかで、怒りの思いの日の十一月九日——三池大爆発の日を迎える。この日全山二十四時間ストライキにはいり、組合員は家族ぐるみで集まり、例年のように大災害をひき起こした三井独資資本に対してはげしく抗議することになっている。

これは炭労の保安闘争につながる 法規違反作業の摘発、③職制の手
るものもあるが、三池労組はこ
の十一月六日から、きたる十月
の二日までの約一カ月間を特に
「保安点検闘争月間」として、職
場ごとに①不安箇所を摘発、② 川鉾炭じん大爆発の日を当てる。
余儀なくされている。

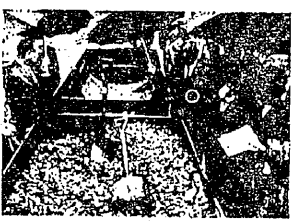
94パーセントが中毒、窒息死 爆発死は25人だけ

救助の遅れ、重視



三池大炭害に新たな問題
対策本部 県警の死因調査結果

線増や電化進める
安全にあらゆる手と予算



「ガス防護教育に疑問」

重点区しほり
自社、それ

真相を伝える当時の新聞

上の、毎日新聞は三池大
爆発をめぐる真相を伝えた昭
和三十八年十一月十六日(爆
発は九月)の朝刊の第一面。
十五日現在で四百五十八人
という死者のうち、記事は爆発
による死者はわずか二十五人
で、その九四パーセントが窒
息死だったと伝え、またこれ
はたまたま窒息死を出したの
がほかならず三井鉾山の救助
作業の立ち遅れだったとの、福
岡県警捜査本部の調査結果を
明らかにしている。そして、
さらに次のように指摘してい
る。

「爆発は午後三時十五分頃
なのに、会社が本格的な救助
作業に着手したのは、午後六
時半頃で、事故発生後三時間
以上のブランクがあった。」

出炭目標260万トン

中央生
産会議 上期実績、計画を突破

五十三年度下期生産会議が、十
月二十一日三池炭業所の第一会議
室で開かれ、会社から上期の実績
と十月以降来年三月までの出炭
十三万トンの状況だった。

(1)高温対策は、
(2)保安関係の岩粉散布実績は、
さらに、負傷状況など。
(3)人員計画は、
(4)下請業者のための保安確保
目標の二百六十万トンを十六万二
上の対策は、

保安点検運動へ

炭労、各支部へ呼びかけ

炭労は十月二十五日、各支部に
ようなことを述べている。
対して、十一月六日から十二月二
日までの間、「第八回保安点検月
間」運動を推進するよう呼びかけ
に立ち、それぞれの職場の保安状
況を点検し、不安箇所の一掃を
はかること。

真谷地で死亡災害が 炭労の秋闘のさなかに

北炭の真
谷地炭鉱で
一人が死亡
するとい
う重大災害
が発生。
十月二十
五日石炭
の桂鉄の坑
底一坑口
から二千メ
ートルは
いた、西九
片運搬坑道
で起きた運
搬災害のた
め、掘進夫
の石井清光
さん(33歳)が死亡した。た
また、炭労がすすめている
秋闘闘争のさなかにあった。

(2)ガス爆発、ガス突出、自然発
火などの重大災害に対する予防体
制を確立するため、点検班による
総合的点検を行うこと。
(3)家族ぐるみに保安闘争を強め
て保安体制の確立をめざすこと。
なお炭労は、各支部が指図書項
を綿密に記入のうえ報告すること
を求めている。